

社会福祉法人流山あけぼの会 行動計画

あらゆる雇用形態からのキャリア形成ができ、職員が生き生きと仕事ができる環境を整備するために、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和8年4月1日～令和11年3月31日までの3年間
2. 当法人の課題

中途採用者や配置転換者などのキャリア形成が困難

- ・人事評価制度がまだ確立されていないため、中途採用者や雇用形態の転換者などのキャリア形成が明確化されていない。

人員不足が影響し、正職員の長時間労働が前提になっているために、職員により偏りが出ている。

- ・人員不足により一人の職員にかかる負担が増えてきている。シフトの円滑さを求める為に、不足部分を残業で補う風潮が常態化してしまっている。

3. 定量的目標

- 中途採用者及び雇用形態転換者の管理職（リーダー以上）の割合を30%以上にする。
- 全職員の残業時間を月平均20時間以内とする。

4. 取組内容

あらゆる雇用形態からのキャリア形成が可能な環境を整える。

令和8年4月～ 各雇用区分ごとの雇用状態の把握

令和9年4月～ 人事評価制度の見直しを行う。

令和10年4月～ 人事評価の導入によるキャリア形成

長時間労働の職場風土を改善する。

令和8年4月～ 残業削減の為に職場における業務削減の取り組みを実施する。

令和8年4月～ 人材確保のための広報活動の強化を行う。